

みょうじょうのことごと

第十四集
明星神社社務所

明星神社にとっては初めての『夏越の祓』ですが、6月30日（月）に滞りなく斎行いたしました。そして、翌7月1日に『無病息災祈願祭』を斎行いたしまして、『夏越の祓』の行事はすべて無事に終えることが出来ました。この神事にご参加いただきました皆さまに、心より御礼申し上げます。

また、拝殿に掛けてあります皆さまの風鈴は、このあと8月10日（日）まで『風りんまつり』として掛け続けさせていただきますので、この季節限定の風鈴シャワーを浴びに、皆さま 明星神社にぜひ足をお運びください。

【夏越の祓と無病息災祈願祭】



明星神社が初めて取り組む神事『夏越の祓』は、6月の晦日である30日（月）午前10時より斎行いたしました。

神事は、いつものように下村宮司によるお祓いから始まりました。で、お祓いを終えて本殿に宮司が向かわれると、その姿を追うように風が吹き、風鈴が一斉に鳴り出したのには、本当に驚きました。

偶然なのでしょうが、あらかじめ仕掛けておいたようなタイミングの風に、神事に参列された方々から「おおっ！」と驚きの声が上がったほどでした。

この後、本殿前で『夏越の祓』の祝詞奏上が行われました。

皆さま、ご存じでしょうか。祝詞とは、神さまへ神職が申し上げる言葉であり、定型のものではありません。もちろん、押さえるべき点もありますが、ある程度自由に申し述べる事が出来るのです。

今回、下村宮司はこの『夏越の祓』のために、新たな祝詞を作ってくださいました。いつもの祝詞に比べると少し長めでしたが、それだけ宮司の思いがこもった祝詞だったのでしょう。聞いている私たちにも、そのお気持ちがじんわりと伝わってきました。

祝詞奏上のあとは、参詣者の代表の方々による玉串奉奠が行われ、明星神社初の『夏越の祓』神事は、滞りなく終了いたしました。



翌7月1日（火）には、朝6時より月次祭に続いて、『無病息災祈願祭』を斎行いたしました。

今月の月次祭は『無病息災祈願祭』も併せて斎行いたしますとお知らせしたためでしょうか、いつにも増して多くの方々がお参りされ、下村宮司もとても嬉しそうでした。

こうして『夏越の祓』に関連する行事は、すべて無事に終了いたしました。ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

【8月7日（祝・月）開催の『こども夏まつり in 明星』について】

前回の『みょうじょうのことごと』でもお知らせしましたが、来る8月11日の夕方から『こども夏まつり in 明星』を、明星神社境内にて開催いたします。



この催しは、お子さまに明星での夏の思い出を届けたいと、
神社総代有志が企画したものです。

当日は、境内一杯に竹灯籠を並べて幻想的な風景を創り出したりとか、手持花火で遊んでもらったりとかをいたしますので、ご家族やお友だちと楽しいひと時を過ごしてください。

さらに、お祭りに無くてはならない屋台もあります！
かき氷、たいやき、お菓子すくい、手づくりコーヒー、布
小物のお店などが、やってきてくれます。

こうしたことのすべては、みな今回のイベントの主旨に賛同してくださった方々が力を合わせてくださったおかげで、実現しています。そうした方には、プロの方もいらっしゃる、今回初めてこうした催しに取り組む方もいらっしゃるま

す。そうした皆さんの「頑張り」も、ぜひ11日の夜に見ていただきたい点です。

そんな多くの「頑張り」の中の、一つの例が竹灯籠です。



生の竹を20本近く切り出すのも、それぞれがかなり重くて大変でした。それを丸ノコで切ると、竹の細かい切りくずが舞い上がって、全身真っ白になりました。

また、灯籠のフチでお子さまがケガをしないように、切断面のささくれや突起を電動ヤスリで削り取るのも、一本一本ごとの手作業で大変だった上に、やっぱり竹の粉で真っ白になりました。

そんなこんな作業の結果の、127本の竹灯籠。初めての制作ですので、ちょっと高さがデコボコしたりしていますが、それもお愛敬ということで、当日は暖かい眼差しでご覧になってください。

『こども夏まつり in 明星』の開催日程は、以下の通りです。

- 日時：8月11日（祝日・月曜日）
-時間：18時より20時30分頃まで
-場所：明星神社境内

※小雨決行です。

また、この日に『風りんまつり』の風鈴もお返しいたしますので、ご参加された方は風鈴を受け取りに、午後6時頃に明星神社までおいでください。

主催者としては、当日の好天を切に願っていますので、拝殿に風鈴の代わりに
にてるてる坊主を吊るしたら、ご利益があるかしらと思ってしまうのです。。。